
情報 I No. 07

メディアと コミュニケーション

年	2	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

第2章 コミュニケーションと情報デザイン 第1節 メディアとコミュニケーション

1. 情報技術の発展による生活の変化 (教 P66-67)

☞メディアの発達によりコミュニケーションはどう変化しただろう

【TRY】①インターネットやスマートフォンがなかった時代、次のことはどうやって調べていたか？
調べてみよう

状況	なかった時代	今は
・明日の天気を知りたい		
・映画館の上映時刻を知りたい		
※例を考えよう		

【知識の整理】

①メディアとコミュニケーションの変遷

- ・ () = 人と人が意思や感情、思考を伝達しあうこと
→ 情報を伝達する (メディア) の発展で、コミュニケーションも変化してきた
(例) インターネットの登場 → 地理的・時間的な制約を超えてコミュニケーションができる

②メディアの利用で生じる課題

- ・ インターネットは情報が拡散するスピードや影響を及ぼす範囲が広い → 炎上などの原因
- ・ 大容量のデータ送信 → 受信する側の通信容量 (パケット) の消費
- ・ 送り手の意図が、受け手に理解されなかったり、誤解されたりすることもある
- ・ 情報の信ぴょう性を見誤ったりする

③ () = 適切に情報を扱う能力 (具体的には次の3つの能力)

- ・ メディアの特性を理解し、受け手として正しく情報を読み解く能力
- ・ 送り手として正確に情報を表現・発信する能力
- ・ メディアの在り方を考え、自ら行動できる能力

2. コミュニケーション手段の特性 (教 P68-69)

☞コミュニケーションはどのように分類できるだろう

【TRY】①教科書を参考に、下のメディアをそれぞれの項目で分類してみよう。

二人の対話、新聞、TVドラマ、TVの生中継、Webサイト、電話、手紙

「1対1」か 「1対多」か？	1対1	1対多
「一方向」か 「双方向」 か？	一方向	双方向
「同期」か 「非同期」 か？	同期 (送信と受信が同時)	非同期 (送信と受信がずれる)

【知識の整理】

①コミュニケーションの形態 →1対1・1対多、同期・非同期、一方向・双方向に分類

②インターネット上でのコミュニケーションの特性

- ・() =実名を公開せずに情報を書き込むことができる ⇨発言に責任を持ちにくい
- ・() =SNSを通じて情報が拡散しやすく削除も難しい ⇨誹謗中傷・個人情報に注意
- ・() =マスメディアと異なり、信ぴょう性の確認を経ないまま発信されてしまう
- ※ () =意図的に事実と異なる虚偽の情報を伝えるニュースのこと

③インターネット上のコミュニケーションの限界

- ・メラビアンの実験=対面コミュニケーションではノンバーバルコミュニケーション(言葉以外
↓
の身振り、手振り、表情、声のトーン)からの情報が9割
- ・表情が見えないネットのコミュニケーションでは感情が伝わりにくい! =限界
→どう解決する? ・感情を伝える工夫()
・メディアの使い分け(例) 急ぐ要件は、場合によってはリアルが有効

3. インターネットの発展(教 P70-71)

4. 情報機器のパーソナル化とソーシャルメディア(教 P72-73)

☞コミュニケーションはどのように分類できるだろう

【TRY】①昭和の家族(サザエさん一家、ちびまる子ちゃん一家)の暮らしと令和の暮らしを比較して
違うところ(〇〇がない)を書き出してみよう。☞3つ以上

【知識の整理】

①インターネットはいつから?

起源: 1969年(ARPANET) =アメリカ国防総省の資金提供で構築されたネットワーク
↓
→クモの巣状にネットワークを接続、複数の経路で通信できるようにした
日本: 1984年 JUNNET =大学同士をネットワークで接続 →全国の大学をつなぐように発展
↓
普及: 1995~2000年 Web(ホームページ)・BBS(掲示板)・メールを中心に利用が広がる
↓
→電話回線を使用し接続速度は遅かった、大容量の画像・動画は困難だった
21世紀:()の普及 = 情報の流通量も増大、動画など大容量データも流通
(例) 光ファイバ(FTH)、ケーブルテレビ(CATV)、5G回線(4Gの10~200倍)

②インターネットと情報格差

- ・() =情報通信を利用できる人とできない人との格差(例) 年齢、国、都市と地方

③情報機器のパーソナル化

昔は電話、テレビ、ステレオ、コンピュータは一家に1台(家族の共有物)
→現在は?・・・スマートフォン1台で完結=情報機器のパーソナル化

④() =人々が相互に情報を発信し、共有する双方向型サービス

→リアルだけでなくネット上でも人のつながりが拡大 →社会への影響力が拡大

- ⑤ () =インターネット上のコンピュータで処理を行うサービスのこと
(例) Google ドライブ、OneDrive、iCloud などインターネット上のデータ保存サービス

【確認課題】調べよう・考えよう！

- ①コミュニケーションで、相手にうまく伝わらなかったり、上手に説明できなかったり、思い違いをしたことはないだろうか？ 自分や周りの経験を書いてください。

--

- ②ネットでは「フェイクニュース」とよばれるうその情報が流れることも多い。
コロナウィルスが流行したときや災害が起こった時に流れたフェイクニュースを調べてみよう。

いつ？どんなとき？	流れた内容・ニュース

- ③メディア・リテラシーについて次の言葉の意味を調べ、そういえばと思うことを書き出してみよう。

ことば	意味
フィルターバブル	
エコーチェンバー	

- ④SNSの多くは無料でサービスが提供されている。なぜ無料でサービスが提供できるのか、どうやって収益を上げているか調べてみよう。

--

【振り返り】No. 07 の授業で学んだこと、気づいたこと、考えたことを簡条書きで書きましょう。

--

☞簡条書きで3行以上かきましよう